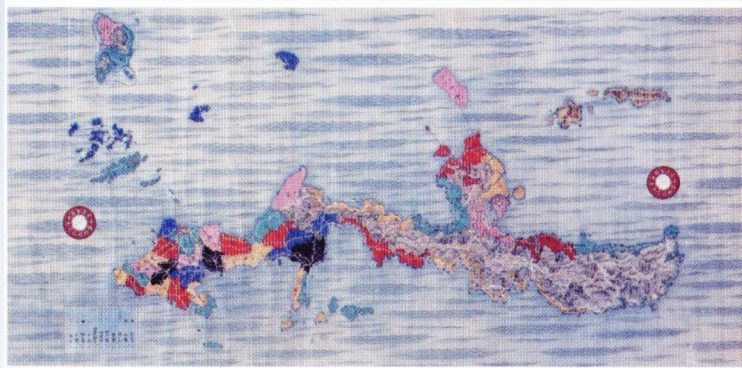


最先端を行く琉球王国の測量術と針図

講師 安里 進 (県立芸術大学 附属研究所 客員研究員)



日本最古といわれる伊能忠敬の地図より古い、
現代の航空写真測量に重ねてもほとんど誤差がない
(「琉球国之図」沖縄県立図書館)

重要文化財答申

2016年6月30日(木)12:00開場

パシフィックホテル ワイケレの間 一般の参加大歓迎

3000円(食事代込み)締切→6月29日(食膳準備のため)



参加券購入先

沖縄セントラル病院 売店
(那覇市与儀) TEL 098(854)5511

てるや整形外科
(南風原町津嘉山) TEL 098(888)3636

「新老人の会」事務局
(浦添市安波茶)TEL 098(874)4030

レイ企画
(那覇市天久) TEL 0120(678)601

株式会社ライフアカデミー
(那覇市安謝)TEL 080(6425)0223

株式会社 リッチグリーン
(西原町翁長) TEL 090(7460)1368

<参加券が購入できない場合の振込先>
沖縄銀行大平支店(普) 1526372

「新老人の会」沖縄支部
世話人代表 鈴木 信
(シンロウジンノカイ オキナワシブ
セワニンダイヒョウ スズキマコト)

主催 / 「新老人の会」沖縄支部 沖縄欧州文化交流協会

後援 / 沖縄ジョン万次郎会



プログラム

12:00 開場・昼食

13:00 平成28年度ONEの会例会・沖縄欧州文化交流協会の案内

13:40 特別講演「最先端を行く琉球王国の測量術と針図」安里進講師

14:50 アトラクション 琉舞 山田多津子, 三線 又吉祐衣, コーラス(ヌージサークル)

講師 安里 進 (あさとすすむ) 先生のプロフィール

1947年、旧首里市（現那覇市）生まれ

1972年、琉球大学法文学部史学科卒業

民間会社、大阪府（文化財保護課）、浦添市（文化部長）、
沖縄県立芸術大学（教授）、沖縄県立博物館・美術館（館長）をへて
現在、沖縄県立芸術大学 附属研究所 客員研究員



専門分野：考古学、琉球史。

主な著書

『近世測量絵図とGIS分析』古今書院、2014年（共著）。

『沖縄人はどこから来たか—琉球・沖縄人の起源と成立—改訂版』ボーダーインク社、2011年（共著）。

『琉球の王権とグスク』山川出版社、2006年。

『沖縄県の歴史』山川出版社、2004年（共著）。

『グスク・共同体・村』榕樹書林、1998年。

『考古学からみた琉球史』上・下、ひるぎ社、1990・91年。

講演要旨

歌と踊りに祖先崇拜など、およそ科学技術とは無縁な琉球王国のイメージを大きく変える発表が文化庁からあった。3月に、国の文化審議会が、琉球王国が作製した「琉球国之図」と「間切図」を国の重要文化財に指定するよう、文部科学相に答申したのだ。

昔の地図が文化財に指定されることは珍しくないが、今回はちがう。文化審議会が、この2つの地図の科学史上の意義を高く評価したからだ。測量術と地図製作という琉球王国の科学技術が、世界的に見ても先端的でレベルが高く、ユニークだから、日本の重要文化財に指定すべきだという。

では、琉球王国の測量術のどこが最先端でユニークなのだろうか？ どこに科学史上の意義があるのだろうか？ この問題を解いていくと、琉球人の意外な姿が浮かび上がってくる。私たち現代沖縄人がテーゲーでナンクルナイサーだから、昔の琉球人もそうだったと思うのは、どうも私たちの勝手な思い込みだったようだ。